

子どもの花粉症について



つのだ耳鼻咽喉科
院長 角田 歩

朝霞市本町2-7-33
ビビッドステージ3F(市役所すぐそば)

TEL/048-469-3331

◇花粉症とアレルギー性鼻炎との違いは？

日常の診療で花粉症とアレルギー性鼻炎との違いについて聞かれることがあります。この2つに違いはなく、花粉が原因のアレルギー性鼻炎を花粉症と呼んでいます。

◇原因は？

原因となる花粉はスギが多く、小学生、中学生と成長するごとに発症する率が高くなります。最近は幼児のスギ花粉症も増えており、一番若い年齢ですと2歳での発症の報告さえあります。子どもは花粉より、ハウスダストやダニなどが原因のアレルギー性鼻炎の方が多ですが、花粉症が合併していることも少なくありません。

◇成長とともに症状は変わる？

アレルギー性鼻炎は残念ながら大人になっても治ることは少ないですが、中学生になる頃に症状が軽くなることはあります。これは成長とともに鼻内の広さが増したり、アデノイド(鼻穴の一番奥、つきあたりにある扁桃組織)が小さくなったりして鼻づまりが軽くなることが影響しているようです。

◇治療は？

治療は花粉を寄せ付けないことと、薬を使うことです。薬は内服薬や点鼻薬を使いますが、アレルギー反応による症状(くしゃみ、鼻水、鼻づまり)をおさえる効果はあってもアレルギーそのものを治すものではないので、体質改善としての長期内服は効果がなく必要ありません。経過の途中で中耳炎や副鼻腔炎(蓄膿症)が生じることもありますので、耳の痛みや聞こえが悪い、きたない鼻水がでるなどの症状にも注意してあげてください。